

人のうごき

令和6年6月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

倉田 ^{かいき}海輝^{くん} (悠平・ひかり) 幸町

おくやみ

佐藤 克磨^{さん} 90歳 焼尻
 山岸 イト^{さん} 97歳 寿町
 澁谷 哲夫^{さん} 93歳 浜町
 坂本 清^{さん} 95歳 南3の5
 近藤 ナツエ^{さん} 97歳 高台
 坂牛 弘子^{さん} 89歳 栄町
 小寺 克彦^{さん} 80歳 北3の2
 山岸 タツ子^{さん} 86歳 北3の3
 田中 敏春^{さん} 82歳 北町
 阿部 知子^{さん} 94歳 南3の4

人口と世帯数(6月末)

人口 6,010人 (-16)
 男 2,920人 (-8)
 女 3,090人 (-8)
 世帯数 3,342世帯 (-5)
 ()は前月比

戸籍の届出について

戸籍の届出は休日も対応しています。休日にお越しの際には連絡事項等がございますので、事前に町民課総合受付係までお電話ください。(☎ 68-7003 ※休日可)



Dr. 佐々尾の健康カルテ

先月紙面が足りずに従来の認知症薬の副作用を書けませんでした。吐き気や嘔吐、食欲不振などの胃腸症状が見られます。ひどい場合には、体が固まったり、震えが起こったり、勝手に体が動くようなことがあります。また興奮したり、怒りっぽくなることもあります。

先月取り上げた薬とは別の薬として、「メマンチン(商品名メマリー)」があります。これはグルタミン酸という神経伝達物質を脳の中で受け止める場所(受容体)が過剰に働いてしまうことを抑える役割の薬です。この薬は「アルツハイマー型認知症」というタイプのみで使用できるもので、とくに中等度から高度の方が対象です。これも「症状の進行を抑える」とはされますが、「病態そのものの進行を抑制するという成績は得られていない」とされています。ただ、この薬が「ドネペジル」などと異なるのは、興奮や攻撃性をはじめとした認知症の方に見られる症状を抑える効果が期待される点です。このような症状は、徘徊をしたり、介護への抵抗につながっていくため、介護の手間が増えてしまいます。そのため、そのような場合に使用することがあります。こちらでも胃腸障害やめまいなどの副作用はありますので注意が必要です。冒頭にも書いたとおり、「ドネペジル」の副作用にも同じような症状があるため、副作用なのか認知症の症状かを見極める必要があります。

いずれの薬も「効果が認められない場合、漫然と投与しないこと」とはっきり記載されていますから、もし効果が実感できない場合は継続すべきかどうかを医師と相談するのが良いでしょう。

昨年秋に承認された「レカネマブ」という注射の薬は、ニュースでも大々的に報道されていたこともあり、興味をお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。「アルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症」を対象として、病気の進行を抑制し、認知機能と日常生活機能の低下を遅らせることが実証されたようです。アルツハイマー病は脳に異常なタンパクが蓄積して発症するものですが、そのタンパクを減少させることで効果が得られるとされます。2週間に1回点滴治療を18ヶ月受けるものです。ただ、副作用として脳がむくんだり出血することがあるようです。確実なアルツハイマー病の診断が必要となり、また治療開始前と開始後定期的な検査が必要となるため、専門的な医療機関でなければ治療を受けることができません。新しい治療には飛びつきたくなるものですが、もう少し経過をみることになりそうです。

(北海道立羽幌病院 副院長 佐々尾 航 医師)

離島地区町政懇談会を開催します

町長と一緒にまちの課題や未来について、ひざを交えて語り合いませんか？

町民の方であればどなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

対象	日時	場所
天売地区	8月29日(木) 18時30分	天売総合研修センター
焼尻地区	8月30日(金) 18時30分	焼尻総合研修センター



➡お問合せ 地域振興課広報広聴係 ☎ 68-7013(課直通)

